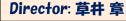
サウンズオブ横浜 夏コンサート Sounds of Yokohama Summer Concert

2025 年7月31日(木)

開演 13時30分(開場 12時30分、終演予定15時30分) 場所 かなっくホール 横浜市神奈川区民文化センター (JR東神奈川駅、京急東神奈川駅 直結)

入場無料。

プログラム、チケットはありません。 本千ラシを演奏会にご持参ください。





Sounds of Yokohama

Sounds of Yokohama (SOY) は 2010年から横浜で**バーバーショッ** プを歌い続けています。メンバー のコーラスのキャリアは幅広く、学 生時代から歌っている人から、ここが初めての人までさまざまです。 「バーバーショップは、『本当に楽しい』」、とメンバーは日々実感して活動しています。



ゲスト: Aoyama Harmony Chorus



Aoyama Harmony Chorus (AHC) は女声4部のアカペラ・バーバーショップスタイルで、世界各地のシスターコーラスと共通の楽譜をもとに英語で歌っています。

昨年のジョイントコンサートに続き、今年もご一緒の舞台に立つ機会を頂き、 皆張り切って練習をしています。

美しいハーモニーが響きますように!

SOYのカルテット: 音璃ハ、他



SOYは仲間を募集しています。

練習は 月2回。土曜日10時~13時 横浜市立豊岡小学校音楽室(JR 鶴見駅徒歩7分)ほか お問い合わせは soundsofhama@gmail.com まで



演奏予定曲

```
第1部:
```

SOY:

Let a Smile Be Your Umbrella

「微笑みが君を守るよ」。SOYサウンドに乗せて幕開けを飾る我らがテーマソング。

Georgia on My Mind

ポピュラーの定番「わが心のジョージア」。州の歌となった。

When I Lift Up My Head

「上を向いてゆこう」と元気づける、ゴスペルの名曲。

What a Wonderful World

「この素晴らしき世界」。ルイ・アームストロングの代表曲。

I' ve Been Workin' on the Railroad

本来は線路工夫達の苦しい労働歌。日本の歌では「線路は続くよどこまでも」。

カルテット - 音璃い、他

Tennessee Waltz

ダンスパーティーで旧友に恋人を盗られてしまった。苦い思い出のメロディー。

In the Still of the Nite

夜の静けさの中で、力でいっぱい抱きしめてほしい、と歌う。

他、数曲

SOY:

Home on the Range

米国中西部の平原を歌う民謡。日本の歌は「峠の我が家」。カンザス州の州歌。

Conev Island Baby

避暑地で出会った彼女との縁切りを歌うコミカルなソング。バーバーショップの定番。

Whispering

「そばに寄り添いささやく」、1920年代のジャズ。

Bad Buncha Boys

悪ガキがガヤガヤ集まってバーバーショップを歌うぜ。。。夜露死苦!

---- 中休み ----

第2部:

ゲスト - AHC:

Take Me Home, Country Roads

ジョン・テンバーの1971年の曲、70年代オリビア・ニュートン・ジョンのカバー曲も大人気に。

Love's Old Sweet Song

夕暮れの薄明りの中で、せつなり恋心を歌うロマンティックな曲。

Mister Sandman

Sandmanは「眠りの精」のこと、最近では某洋酒メーカーのコマーシャルにこのメロディーが。 Aloha '0e

ハワイ王国第8代女王リリウオカラニによって作られたハワイの代表曲。再会を祈る別れの曲。 Chattanooga Choo Choo

シンシナティ発チャタヌーガ行き列車、駅の靴磨きと乗客との軽快なやり取りで始まります。

How We Sang Today

AHCが所属する国際コーラス団体Sweet Adelines Internationalのモットーソングの一つ。

SOY:

Wait Till the Sun Shines, Nellie - カルテット「Zenza Boys」

ピクニックは雨で中止。女性を優しく慰めるバーバーショップの定番。

Dream

NHKサラメシ「あの人が愛した昼メシ」のBGM。「憂鬱なときは夢を見てね」と歌う。

Swing Down Chariot

ゴスペルの名曲。チャンスでスタジアムをゆるがすイングランドラグビーの応援歌。

Somewhere Over the Rainbow

「虹の彼方に」。1939年アカデミー賞映画「オズの魔法使い」より。

Hello Mary Lou

60年代のロック。バーバーショップ愛好家はだれでも歌う。